



秋の休日を満喫

(10月10日 備中やすらぎの里一帯)

「第30回備中ふるさとまつり」(備中イベント実行委員会主催)が行われました。この日は好天に恵まれ多くの人々が来場。地元のコミュニティ協議会など関係団体が特産品などを販売し、にぎわいました。ステージでは地元の備中太鼓や演芸が披露されました。徳島阿波踊り蜂須賀連の踊りでは、観客もステージにあがり、一緒に阿波踊りを楽しみました。

ふるさと祭り大にぎわい

(10月17日 川上マンガ絵ぶた公園一帯)

「かわかみふるさと物産まつり」(同実行委員会主催)が行われました。地元の特産品やうどんなどが販売され、大勢の買い物客でにぎわいました。また、ステージでは、中学生による渡り拍子の披露や人気アニメソングの歌謡ショーもあり、人気を集めていました。



心のふれあう なりわ祭り

(10月24日 成羽文化センター周辺)

「第27回なりわ祭り」(同実行委員会主催)が行われ、あいにくの雨にもかかわらず、多くの人々が訪れました。商店街を周遊するコースに会場を移して2年目となる今年。ステージでは、備中神楽や芸能発表などがあり、コメディショーでは、ピエロのユーモアあふれる演技に子どもたちが大きな歓声を上げていました。また、各テントの特産品などの販売もにぎわっていました。

晴天下でプレー

(11月4日 神原スポーツ公園)

「市民健康づくり高梁地域グラウンドゴルフ大会」(市主催)が開催され、多くの愛好者がプレーを楽しみました。市内の30~80代の201人が参加。秋晴れの下、参加者らは、緑が映える人工芝の感触を確かめながら、プレーに一喜一憂していました。



カメラ

あらかると



ふるさと村にボンネットバス走る

(11月5日~7日 吹屋ふるさと村)

高梁法人会が、社会貢献と観光振興のために企画したボンネットバスが、吹屋ふるさと村に懐かしい姿を現しました。観光客らが次々と乗り込み、車窓から吹屋の町並みを眺めていました。



吉備国際大学開学20周年

(11月6日 順正学園体育館)

吉備国際大学の開学20周年記念式典が行われ、関係者ら約800人が発展を祝いました。祝賀会の後、同大学を開設した学校法人高梁学園(現順正学園)の初代理事長、故加計勉氏(本市名誉市民)の銅像の除幕式が行われました。同大学は、1990年に開学し、現在は6学部12学科、大学院で2423人が学んでいます。



新しい会場で大盛況

(10月31日 有漢地域センター周辺)

「風ぐるまふるさとフェスタ2010」(同実行委員会主催)が行われました。今年は、地元の人々が参加しやすいように、会場をうかん常山公園から変更。地元特産品販売やB級グルメの屋台に行列ができるほどにぎわいました。ステージではキャラクターショーなどが行われ、祭りを盛り上げました。



青空の下、まつりを満喫

(10月10日 宇治学園グラウンド周辺)

「第20回宇治ふるさと物産まつり」(同実行委員会主催)が行われました。ステージでは、県警音楽隊による演奏や、地元グループなどの演芸が披露されました。また、マツタケやピオーネなどの物産も大好評。絶好の秋晴れの下、来場者は楽しいひとときを過ごしました。

